

発行責任者 北川崇誠

編集者 北井悟司

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

衆議院議員総選挙で政権交代 を目指し自・公政権に終止符 を！！

8月14日岸田首相は、総裁選挙への不出馬を表明し、その後行われた、自民党総裁選挙は9人の候補者が乱立し、これまで批判されてきた自民政治が、「清算」され、「若返り」し刷新されるかのような錯覚を国民に与えました。

とりわけ「メディアジャック」と言われる報道が行われ、「金権腐敗政治」「アメリカ追従の軍拡政治」を隠し、総選挙を前にした自民党の政策キャンペーンを行ってきました。

その後誕生した石破政権への支持率は、50%に回復したとされ、この余勢を駆って、解散・総選挙を行い、自民党政治の延命を図ろうとする党利・党略を優先させました。

そのことは就任から26日後に投・開票を行うという、戦後最短解散・総選挙に表れています。

私は、能登半島大雨前日の9月19日に輪島市に行く機会がありました。現地では、建設重機もダンプトラックも全く見られず、倒壊した家屋はそのまま、大火災に見舞われた、朝市の現場も全く手つかずの状態に放置されたままの状況で、復興の足音は全く聞こえない信じられない状況でした。『過疎地を復興しても・・・』との政府の声が聞こえます。阪神大震災や東日本大震災の復興とは比べ物にならない状況で、国民を公平に扱わない自民党政治の本質を露呈しています。

能登半島地震や大雨からの復旧・復興などの重要課題を放置して、政権の延命を目的に、早期に総選挙を実施するのは、国民不在の政権であり、アメリカの世界戦略に組み込まれ、貧困が進行し、朽ちていく国の将来や、国民生活を無視し、

軍事拡大路線に邁進する自民党政治には、この総選挙と来年7月の参議院選挙で『NO』に意思表示を明確にし、政権交代を実現しなければなりません。組合員の皆さんの賢明は判断お願いします。

夏期交流会で 交流深める！！

8月30日、夏期交流会を橿原近鉄百貨店屋上で19人が参加して行いました。当日は、残暑の厳しい中、南和地区でともに活動する組合活動家や自治体議員が一堂に会し、日頃できない交流を夜遅くまで行いました。

今後の引き続き連携を深め、労働者の地位や福祉の増進に向けともに取り組むことを確認し交流会を終えました。

24 橿原再発見ツアーへの参加を！！

例年橿原市労福協では、橿原市の名所・旧所などを探訪し、橿原を再認識する取り組みを行ってきました。

今回は、1917年から1920年にかけて、高市郡白檀村の大字である被差別部落の洞（ほら）村（現在の橿原市）の住民が、土地全域を隣接する神武天皇陵拡張に関わり集団移転を余儀なくされました。

その『洞部落の集団移転』について、現地見学と学習を行うことを企画しました。

つきましては、せっかくの機会ですので、役員の皆さんは勿論、組合員にも呼び掛けてもらい参加をお願いします。

記

1.日 時：11月17日（日）14：00～

2.場 所：おおくぼまちづくり館集合
橿原市大久保町 40-59

3.内 容：講演と現地見学（所要時間 2 時間半程度）

4.参加要請：南和地協役員及び組合員

5.出欠報告：11月8日（金）までに北井まで報告をお願いします。

ラインでもFAXでもOKです。

FAX：0744-47-2305